

原発事故の被害を忘れない！ 映画『奪われた村』上映と講演

ゲスト：豊田直巳監督



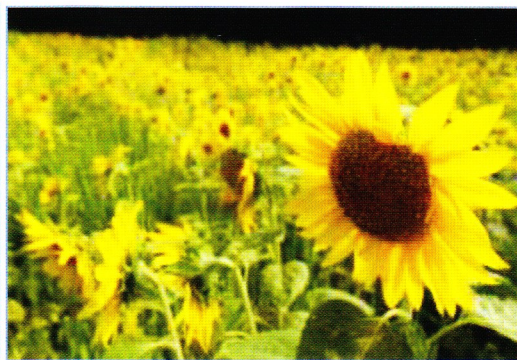
『奪われた村 避難5年目の飯舘村民』上映と講演

福島第一原発が爆発したとき、豊田監督はイラクの戦場取材で劣化ウラン弾による放射線を調べるために使っていたガイガーカウンターを手に福島に向かいました。それから飯舘村に通い、「目に見えない戦場で戦っている」ような毎日を送る村のみなさんと出会い、この映画を製作されました。今年3月、避難者に対する支援が打ち切れ、家族の命を守るために必死で逃げた県外避難者にも、帰還を余儀なくされている人々もいます。

原発事故が、故郷から人々を引きはがし、分断したこと、苦しみの中におかれながら必死に暮らしを紡いでいる被害者がいることを忘れ、日本は原発再稼働へと走ろうとしています。立ちどまって、このドキュメンタリー映画（64分）と豊田監督のトークに出会ってください。共に考えましょう。

日時：2017年**9月9日(土)** 開演 14:00（開場 13:30）

会場：日本^{きりすと}基督教団横浜磯子教会（行き方は裏の地図参照）



（写真：豊田直巳監督）

参加費

当日：1000円

前売：800円

★★★★★

♡保育の必要な方は
ご連絡下さい。

☆☆☆☆☆☆☆☆ 講師 豊田直巳監督 プロフィール ☆☆☆☆☆☆☆☆

●とよだ なおみ フォトジャーナリスト 1956年 静岡県生まれ。
平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞受賞(2003年)

写真集・フォトルポルタージュ

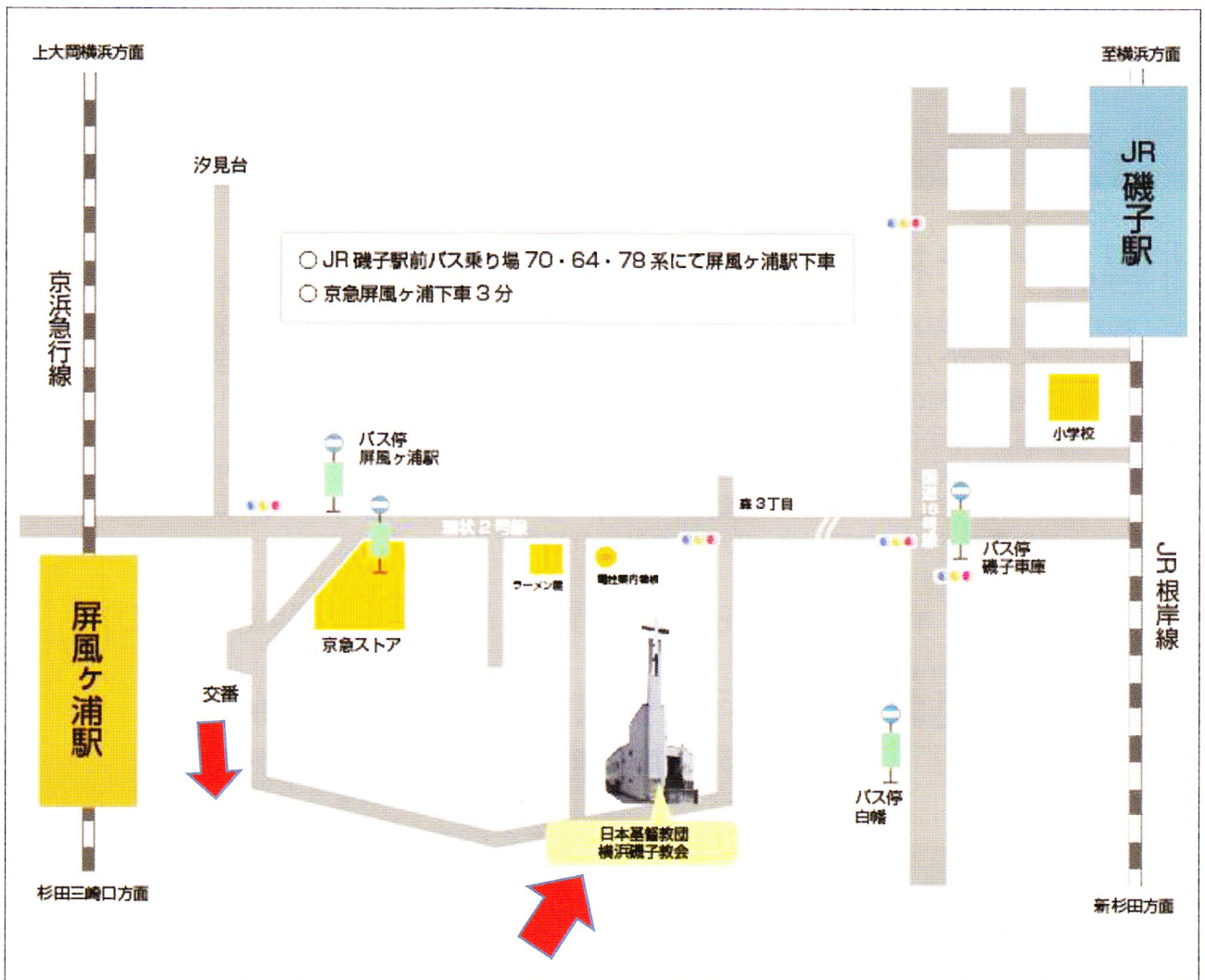
- 『福島を生きる人びと』(岩波書店 2014年3月)
- 『フクシマ元年』(毎日新聞社 2013年4月)
- 『福島 原発震災のまち』(岩波書店 2011年8月)
- 『戦争と止めたい---フォトジャーナリストの見る世界』(岩波書店 2009年)等多数

映画

- 『奪われた村~避難5年目の飯舘村民』監督 (2016年製作)
- 『遺言~原発さえなければ』(共同監督 2013年製作) (2017年4月時点)

会場名：日本基督教団横浜磯子教会 (にほんきりすときょうだん よこはまいそごきょうかい)

会場へのアクセス



最寄駅：京浜急行「屏風ヶ浦（びょうぶがうら）」駅（横浜からは上大岡で普通電車に乗換えて次の駅）下車徒歩3分（260m）（目印は京急ストア）
JR 根岸線「磯子（いそご）」駅のバス乗場70、64、78系統に乗り、屏風ヶ浦駅下車。